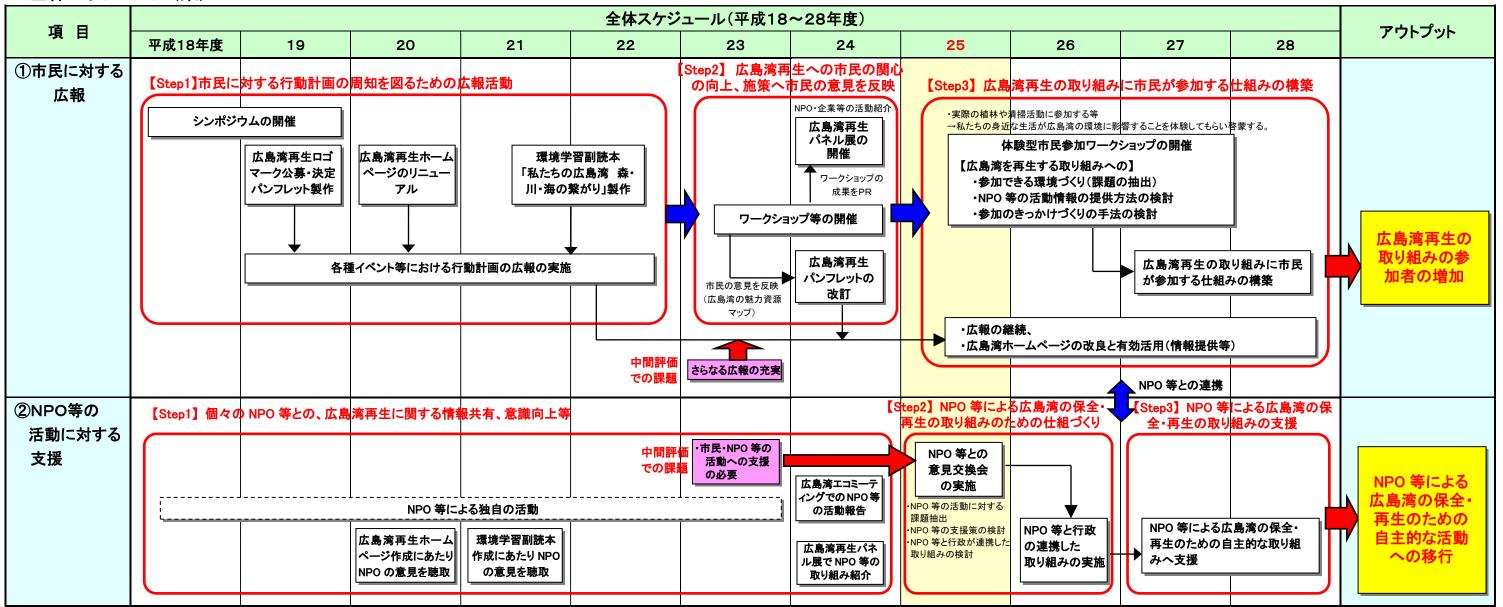
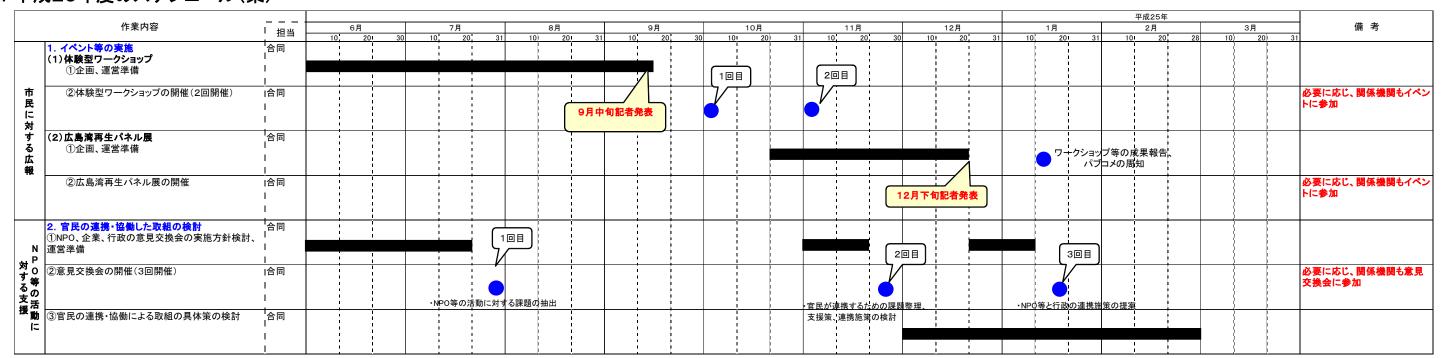
1. 全体スケジュール(案)



2. 平成25年度のスケジュール(案)



3. 平成25年度の実施方針(案)

(1) 広島湾再生ホームページを利用した情報発信と、そのためのルールづくりの検討

平成 24 年度は、行政からの一方的な情報発信だけではなく、地域の方々やNPOが積極的に活用できるようにするとともに、 アクセス数を増加させる(何度もホームページを訪れたくなる)ことも重要であるので、アクセス数増加のための魅力的なコンテ ンツについて検討を行い、ホームページの改良を行った。

【改良点】

- ○情報投稿・発信機能の改良 (投稿機能の簡素化、カレンダーとの連動)
- 〇市民からの広島湾に関する写真投稿ページの充実

平成 25 年度からは、改良後のホームページを運用する。これにより、**広島湾再生推進会議構成機関等からのイベント情報** 等を継続的に掲載していくとともに、投稿のルールづくりについて検討し、着実な情報発信を行っていくものとする。

①各機関に投稿してもらう情報の種類等

- 〇各機関が主催、共催、後援を実施する、広島湾(環境)の保全・再生に関係するイベント情報
 - 例)かき祭り、環境学習、シンポジウム、フォーラム、森林ボランティア活動、海岸清掃活動、その他市民向けの環境 啓発イベントなど
- 〇市民に対する募集情報(写真コンテストの開催、施策に対する意見募集など)
- ONPO や企業に対する助成金や支援制度等の情報
- 〇広島湾の環境に関するデータの更新情報 (新たな水質、底質等のデータが更新された場合)

②投稿方法(案)

- ○各機関の担当者は、広島湾再生ホームページに設定する「共有カレンダー」に、イベント情報を入力する。
- ○情報の入力については、労力がかからないよう、以下の項目のみに簡素化する。

「実施機関」

「イベント名や施策名称」

「開催、募集日時」

「詳細な情報が掲載されたホームページへのリンク」

○情報の投稿は、毎月の月初めに入力するなど、あらかじめ投稿のルール化を行う。

(各機関)

(各機関)

内容に不備がある 場合は修正を指示

イベント等の情報

- 〇各機関が主催、共催、後援を実施するイベント等の情報(実施日、概要)
- ONPO等に対する助成金、支援策に関する情報
- ○その他、広島湾の環境に関する情報



情報の入力・投稿

〇広島湾再生ホームページの「共有カレンダー」にアクセスし、イベント等の予定を入力

○イベント情報の詳細については、各機関のホームページのリンクを貼り付ける



各機関の担当者は、毎月、月初め(1日)に、イベント情報等を入力(ルール化)



(事務局:中国地方整備局企画部 広域計画課)



- ○各機関がイベント情報を入力
- ○事務局に通知メール
- ○事務局で内容を確認し、問題が無ければ承認し公開

図-1 広島湾再生ホームページへの、関係機関からの情報発信に関する投稿イメージ

(2) 企業による地域・NPOの取り組みを支援するための体制づくりの検討

1)平成25年度以降の実施方針(案)

1 ①当面の課題

広島湾再生における企業と地域・NPO等の連携・協働による活動を活発にしていくためには、行政機関に代わり、L企業と地域・NPO間の諸調整や活動資金の調達・再配分などを実施するための第三者的な「中間支援体制」の構 L 築が将来的に必要である。



②平成25年度以降の実施方針(案)

しかしながら、地域・NPO、企業、行政の連携・協働体制の構築に至るまでには少なからず時間を要するため、**平成**25 年度は、企業と地域・NPO、行政がお互いの活動内容を把握したり、情報共有や意見交換を行うための意見交
換会を開催する。意見交換会の結果を踏まえ、平成26年度以降は、NPO等と行政が連携した取り組みの実施について検討し、NPO等による自主的な取り組みの実施への移行に繋げていくものとする。

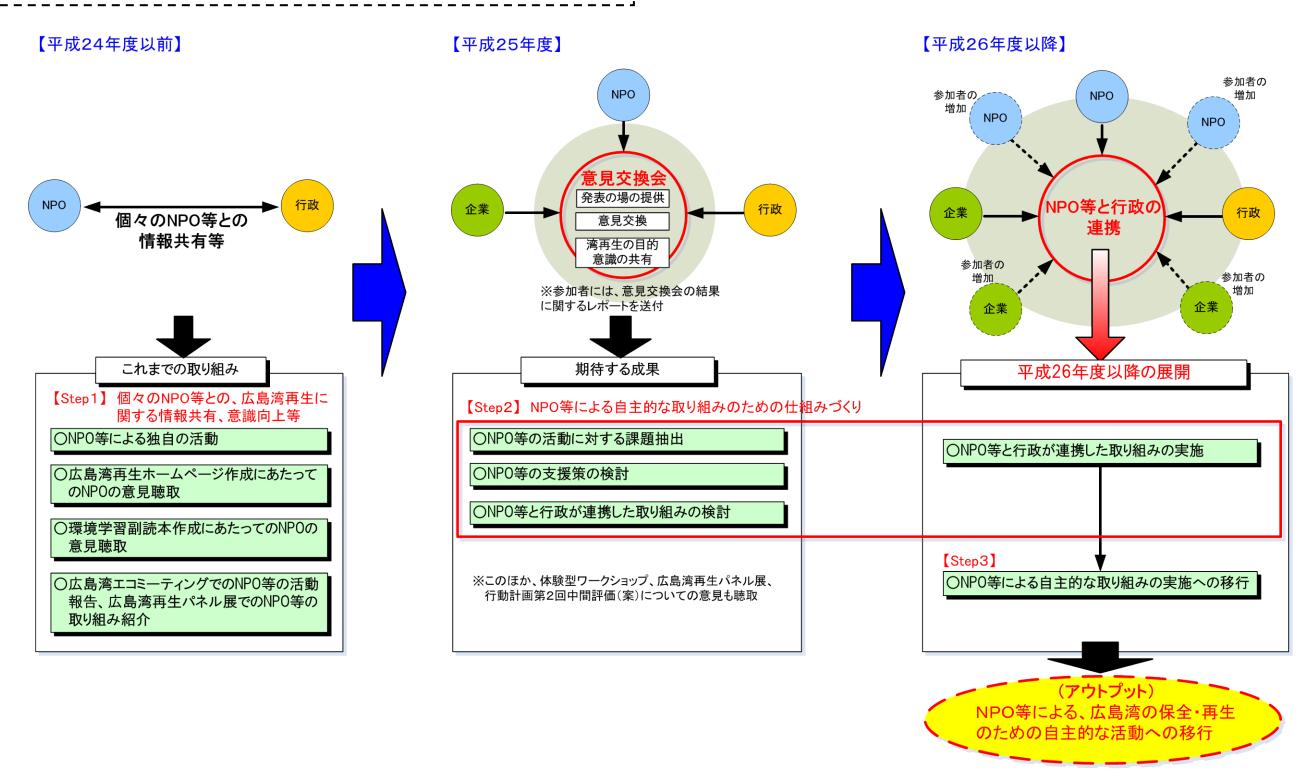


図-2 企業による地域・NPOの自主的な取り組みを支援するための体制づくりに向けた、今後の展開イメージ

2) 平成25年度 NPO 等との意見交換会 実施方針(案)

①開催目的

○意見交換会は、今後のパートナーシップづくりに向けた第1歩として、NPO、企業、行政等の方々が集まり、以下の目的で開催する。

①活動事例の発表

・NPO、企業等から活動事例の発表をしてもらい、それぞれの活動内容と課題について参加者全員が共有する。

②意見交換

- ・参加者が同じテーブルについて、それぞれの団体が抱える課題を解決するための連携のあり方について話し合う。
- ・今後、広島湾周辺において市民等による自主的な活動を展開していくための課題について話し合う。
- ・平成25年度に実施を予定している体験型ワークショップ、パネル展、行動計画の第2回中間評価の実施について、 意見をいただく。

○なお、意見交換会は一過性に終わるのではなく、参加者の拡大と、今回のイベントで出された課題について議論を深めていくことで、**今後の NPO や企業を中心とした自主的な活動の展開に繋げていくものとする。**

②実施方針(案)

【全体概要】

〇開催場所: 広島市内(まちづくり市民交流プラザなど)

○開催回数 : 平成25年度は3回開催 (1回あたり2時間程度)

○参加者 : NPO・市民団体、企業、行政等から、合計 30 名程度

※広報(記者発表、ホームページ等)と、これまでワークショップやアンケートに協力いただいた NPO、企業等への

案内により、参加者を募集する。

第1回(7月下旬頃)

〇趣旨説明等(15分)

※意見交換会の趣旨説明、行動計画の概要及び官民連携による行政の取り組み事例の紹介

〇活動事例の発表 (15分×3団体=45分)

※NPO・市民団体、企業より、広島湾における環境保全の取り組みの現状と課題について発表いただく。

- 〇意見交換(60分)※参加者によるグループミーティング形式
- (1)NPO等の活動に対する課題の抽出
- ②体験型ワークショップの開催について

第2回(11月下旬頃)

- ○体験型ワークショップの開催報告(15分)
- 〇前回の意見交換会のおさらい (30分)
- 〇意見交換 (75分) ※参加者によるグループミーティング形式
- ①官民が連携するための課題整理、支援策・連携施策の検討
- ②広島湾再生パネル展の開催について

第3回(1月中旬頃)

- 〇広島湾再生パネル展の開催報告(15分)
- 〇前回の意見交換会のおさらい (30分)
- ○意見交換(75分)※参加者によるグループミーティング形式
- ①NPO 等と行政の連携施策の提案
- ②広島湾再生行動計画 第2回中間評価(案)について